

# ふれあい・いきいき通信

## \* 特別号 \*



令和2年12月発行 VOL. 65

発行：社会福祉法人渋谷区社会福祉協議会 地域福祉課地域支援係  
住所：〒150-8010 渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所2階  
電話：03-5457-2200 FAX：03-3476-4904  
メール：shien-shibuya-shakyo@tokyo.email.ne.jp

## ふれあい・いきいきサロン

### 情報交換会を行いました！



11月16日に、ふれあい・いきいきサロンの情報交換会を行いました。18名の方が参加してくださり、有意義な会となりました。

コロナ禍ということもあり、短い時間での開催となりましたが、情報交換という点では、いい機会になったのではないかと思います。

なお、12月7日は残念ながら中止となりました。しかし、今後も継続して、こうした会を持ち、サロン団体同士がつながりを持ち、情報交換ができる関係性を作っていければと思っています。今回の会でお話とアンケート結果を中面に記載しております。参考にしてください♪

### しぶやおでかけマップが完成しました！



今回、令和2年度版「しぶやおでかけマップ」が完成しました！  
12月～1月にかけて、各団体にお届けします。ホームページにも掲載予定です。

渋谷社協ホームページ <https://www.shibuyashakyo.or.jp/>  
※しぶやおでかけマップは地域のサロン情報が掲載されている冊子です。

## 現在行っている活動

- 座ってできる体操、料理、ボッチャ、お話など
- 簡単な料理（カレーなど）で対応した
- おしゃべり会
- ボランティアとの話し合い
- 距離をとったうえで今まで通りの活動

## 工夫していること

- 検温、手指消毒、窓の開放（換気）
- 暑中見舞いを送付（片方が塗り絵になっているようなもの）
- アクリル板を設置
- 「話をするときはマスクをしてください」などの声掛けを行う

# アンケート結果

## ☆印象に残ったこと

- コロナにより開催できないサロンが多いと感じた。
- どの団体もいろいろ工夫して開催していることが分かった。
- 皆同じようなことに困っているが、活動を通してつながりの大切さを実感していると思った。
- コロナが大変な時に頑張っている人がいることがびっくりだった。

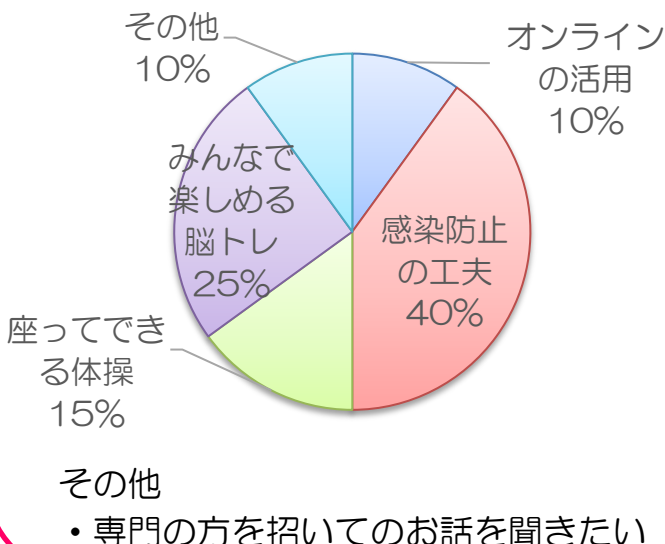
## ☆今後の参考にできそうなこと

- 往復はがきの活用
- アクリル板の購入
- 健康カードの作成
- 体育館の活用

## ☆今後も参加したいですか？

	人数
はい	12
いいえ	0
どちらともいえない	4
無回答	2

## ☆知りたいことや興味があるもの



## ☆ご意見・ご感想

- コロナ禍の工夫を色々聞けてよかった。
- ボランティアも集うことを気にしているため、話し合いができない。
- ボランティアに中学生や若い人を巻き込むことができたら楽しいかもと感じた。
- 社協の了承がないと食事会の開催は難しいと思った。

『紡いできた「つながり」をとだえさせないために今できることは？』

(公財)ダイヤ高齢社会研究財団・澤岡詩野

コロナの感染拡大とともに頻繁に聞くようになった「新たな生活様式」ですが、具体的にはなにを意味するのでしょうか？みなさんの活動でいえば、「短時間に少人数で密を避ける」「消毒や換気を徹底する」「体操後のおしゃべりタイムをやめる」などが挙げられるのでしょうか。これが新たな生活様式であるならば、「活動する意味がない」や「コロナがおさまるまで活動しない」と考えるのは自然な反応といえます。そうではなく、「大事にしてきたやりたいこと」を続けるための手段と考えてみたら、捉え方も違ってくるのではないのでしょうか。

では次に、そもそもグループで「大事にしてきたやりたいこと」を改めて振り返ってみてください。会食や配食にお茶会、体操や脳トレなどが挙げられると思いますが、それではレストランやお弁当屋さん、スポーツクラブやカルチャーサロンなどと同じになってしまいます。みなさんが活動する意味は、地元で「つながりや支え合いの輪をうみだす」こと、そんな場を「みなで創り出す」ことだったのではないのでしょうか。

活動がおもうようにならない今、改めて意識して頂きたいのは、みなさんがこれまで紡いできた「つながりや支え合いの輪」をとだえさせないために「今できること」に目をむけることといえます。「再開できていない、体操のリーフレットに一言添えてポストにいれている」、「会食は無理、お弁当を購入して笑顔と共に渡している」グループから、気にしてもらっていることが嬉しいとの声が聞かれたというお話をうかがうことも少なくありません。

今、大事なのはみなさんが『紡いできたつながりをとだえさせないこと』。この年末年始、そのために無理なくできることをグループのみなで考えてみませんか？

## 【澤岡詩野先生プロフィール】

公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団、研究部主任研究員、工学博士、専門社会調査士。

専門は高齢期の人間関係。特に知り合い以上で友人未満の関係に着目し、地域をゆるやかにつなげる居場所のあり方を研究している。著書に『後悔しない「年賀状終活」のすすめ』（カナリアコミュニケーションズ）がある。

## ★コロナ禍の活動紹介★

### かたらい【食事型】

10月からお弁当を配っています。食事会がなかなか開けない中、何かしたい！という思いからこの活動を行っています。参加者の皆さん、嬉しそうに取りに来ています。

### どんぐり【ふれあい型】

昨年から計画をしていましたが、コロナ禍でオープンが遅れたものの、9月にオープンしました。アクリル板を使うなどの工夫をして、開催しています。





# 歳末たすけあい運動募金がはじまります！

今年度の募金活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に留意し、職員が地域交流センター等地域に出向き、募金の受付をいたします。

※区役所2階の窓口でも受け付けています。  
(平日9:00~16:00) ※12月28日(月)まで

皆さまからいただいた募金は、本会が実施する地域福祉活動等への支援に活用させていただきます。

皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

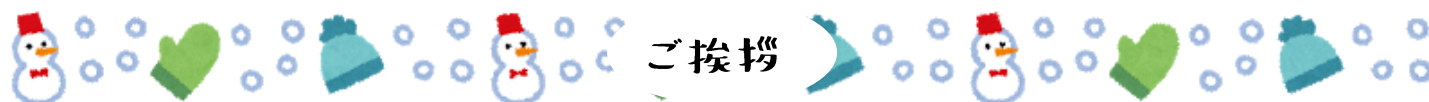
【主催】東京都共同募金会

【協賛】渋谷区 渋谷区町会連合会  
渋谷区民生児童委員協議会

【実施】渋谷区社会福祉協議会

地域交流センター二軒家	1日(火) 午前・午後
地域交流センター大向	2日(水) 午前 16日(水) 午前
総合コミュニティ・せせらぎ	3日(木) 午前・午後
地域交流センター恵比寿	7日(月) 午前・午後
地域交流センター上原	8日(火) 午前・午後
地域交流センター代々木	9日(水) 午前・午後
地域交流センター西原	11日(金) 午前 18日(金) 午前
地域交流センター神宮前	14日(月) 午前・午後
地域交流センター新橋	15日(火) 午前・午後
地域交流センター笹塚	21日(月) 午前・午後
地域交流センター代々木の杜	22日(火) 午前・午後
地域交流センター本町	24日(木) 午前・午後

※午前は10:00~12:00 午後は13:00~15:00



## ご挨拶

今年はコロナに始まり、コロナに終わりそうです。サロン活動が思ったようにできず、運営側の皆様のご苦勞に心が痛みます。

コロナの終息を祈るばかりです。  
(地域福祉課長 澤木)

气ぜわしい師走となりました。感染者が増加し、深刻度が増す今日この頃ですが、お正月はどのように過ごされますか。おだやかに過ごされますように。

(地域支援係長 畔上)

水前寺清子さんの「365歩のマーチ」がテレビから流れてきました。あらためて歌詞を読んで、元氣をもらいました。

♪人生はワン・ツー・パンチ 歩みを止めずに夢みよう 千里の道も一歩からはじまることを信じよう♪ (植田)

今年も残りあと1か月です。例年だと、皆さんのサロンでもクリスマスが行われていますが、今年はなかなか難しいですね…ちょっぴりさみしいです。

来年も、コロナに負けずに頑張りましょう！ (千葉)

